

かさま社協だより

No.10



編集・発行 2009.12.18

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



福祉バザー（岩間支所）



友二小ふれあいクラブ（友部支所）

も く じ

① 第59回 茨城県社会福祉大会	2～3
② 社協ってなあに？	4～5
③ 支所だより	6～7
④ お知らせ	8

福祉大会

制定60周年記念～

去る11月10日、常陸大宮市文化センターで開催された本大会において、これまで多年にわたって社会福祉の発展に功績のあった方々（敬称略）が顕彰されました。

笠間市関係者も日頃の活動が認められ、個人29人・10団体の方々が顕彰されましたのでご紹介いたします。

顕彰に先立って、「障害者はチャレンジ」と題して、竹中ナミ氏の記念講演がありました。

茨城県知事表彰

◆ 社会福祉施設職員

檜山 三枝子 (笠間市立てらぎき保育園)
高野 厚子 (笠間市立くるす保育園)
住谷 和子 (おしのべ保育園)
森 博文 (愛の里)
山口 典枝 (かさまグリーンハウス)
小林 みち子 (グループホームかさまグリーンハウス)
宮田 孝子 (大沢保育園)

◆ 社会福祉団体関係者

小菅 栄子 (笠間市社会福祉協議会事務局次長兼友部支所長)

◆ 社会福祉援助功労者

檜崎 富士子 (グリーンハウスボランティア)
そばうち同好会 (グリーンハウスボランティア)
景井 由美子 (グリーンハウスボランティア)
山口 しほ子 (グリーンハウスボランティア)
ト部 開 (笠間地区心配ごと相談員)
皆塚 和昭 (友部地区心配ごと相談員)

茨城県社会福祉協議会会長表彰

◆ 民生委員・児童委員

藤枝 征宜 (笠間地区)
木村 裕子 (笠間地区)
中庭 幸枝 (友部地区)

◆ 社会福祉施設役員

湊 隆夫 (尚生会理事・評議員)

小林 元久 (尚生会理事・評議員)

生田 昌 (尚生会理事・評議員)

大塚 新一 (尚生会評議員)

山口 栄 (尚生会評議員)

◆ 社会福祉団体役員

須郷 やい (笠間市母子寡婦福祉会会長)

◆ 社会福祉施設職員

石井 佐智子 (茨城県立リハビリテーションセンター)
池田 よね子 (めぐみ保育園)
山口 千代子 (めぐみ保育園)
森田 敏子 (かさまグリーンハウス)

◆ ボランティア

笠間市手話サークルさしろ (笠間地区)
笠間市レクリエーションボランティア (笠間地区)
紙芝居「いろは」 (友部地区)
とも し 灯 (友部地区)
災害・救援ボランティア友援の会 (友部地区)
友部おもちゃ図書館ととのいえ (友部地区)
精神保健ボランティア友(TOMO) (友部地区)
心にとけの会 (友部地区)
ハートレインボー (グリーンハウスボランティア)

◆ 心配ごと相談員

綿引 一 (友部地区)
来栖 孝一郎 (友部地区)

茨城県社会福祉協議会会長感謝

牧島 清 (笠間市 ケアハウス悠に寄付)



第59回

茨城県社会

～身体障害者福祉法

記念講演

「障害者はチャレンジド」

すべての人が誇りを持って生きられる社会に

講師 社会福祉法人 プロップ・ステーション理事長

竹中 ナミ

チャレンジドという言葉は20年くらい前にアメリカ人が生み出した言葉です。ハンディキャップというのは、何々が出来ないという不可能な部分に着目しているのに対し、チャレンジドというのはネガティブな呼称ではなく、「挑戦する資格やチャンスを与えられた人」の意味で、日本で言う障害者ではありません。

プロップ・ステーションで学び、働くチャレンジドの多くは、日常生活を営む上で何らかの介助・介護を必要としています。ICT（情報技術）が彼ら（彼女ら）の潜在的な力を社会に引き出す大きな役割を果たして来ました。

コンピュータは、手指以外に、足、口、まぶたなど、身体のどんな部分であっても、わずかも自分の意志で動かせれば「入力装置」を接続することが出来るからです。



プロップでは、知的ハンディあるいはLDや自閉症や精神障害のチャレンジドもICTを学び、それぞれの個性と能力を発揮しています。

ICTの可能性に着目したのは、阪神淡路大震災で被災したとき、パソコン通信が仲間との情報交換にとても役立ったからです。当時はまだインターネットはありませんでした。

私が何故プロップを始めたかといえば、現在36歳になる長女が重症心身障害をもって生

れたことにあります。現在も全介護を要する状態にありますが、彼女から私は「色んな人がいる。それが社会なんやー」

「人の成長のスピードは、一人一人違って当たり前」ということを心底学びました。ですから彼女は私の恩師であり、同時に、私の宝物です。娘は「日本の非行少女のハシリというようなワル」であった私を現在の私に育て上げた人です。従って、プロップの活動は、娘の支えによつて続けられていると言っても過言ではありません。私は自分にとつて誇らしい存在である娘を「可哀想」と呼んではし

くないと強く思っています。福祉というとか何をしようと

思っている人もいますが、

そのような考えを変える必要があります。

私はすべてのチャレンジドを納税者にしたいと思っています。

アメリカで見たのは、障害者が様々な立場でごく当たり前

に仕事をしている姿でした。

チャレンジドがICTを駆使し作り上げた作品を、プロップの手によつて商品化する事にプロップは取り組んでおり、既に実績をあげています。ホームページがありますから見て下さい。

私は一人でも多くの方が、「ユニバーサル社会（共生・共助社会）」の実現を目指して、「人のマイナス部分ではなく可能性に着目し、それを引き出す行動」を起こして下さいことを願っています。（生天目）

講師紹介

- ・1948年神戸市生まれ
神戸市立本山中学校卒
- ・重症心身障害の長女（現在36歳）を授かったことから、独学で障害児医療、福祉、教育を学ぶ
- ・草の根グループとしてプロップステーションを発足、98年理事長に
- ・社会保障国民会議委員、財務省財政制度審議会委員などを歴任
- ・著書「プロップ・ステーションの挑戦」（筑摩書房）他
- ・ニックネーム「ナミねえ」で親しまれている超元氣な関西人

※1. プロップ(prop)というのは「支え合い」を意味する言葉。

2. プロップ・ステーションは、ICTを駆使して、チャレンジドの自立と社会参画、とりわけ就労の促進や雇用の創出を目的に活動する社会福祉法人です。

なあと？

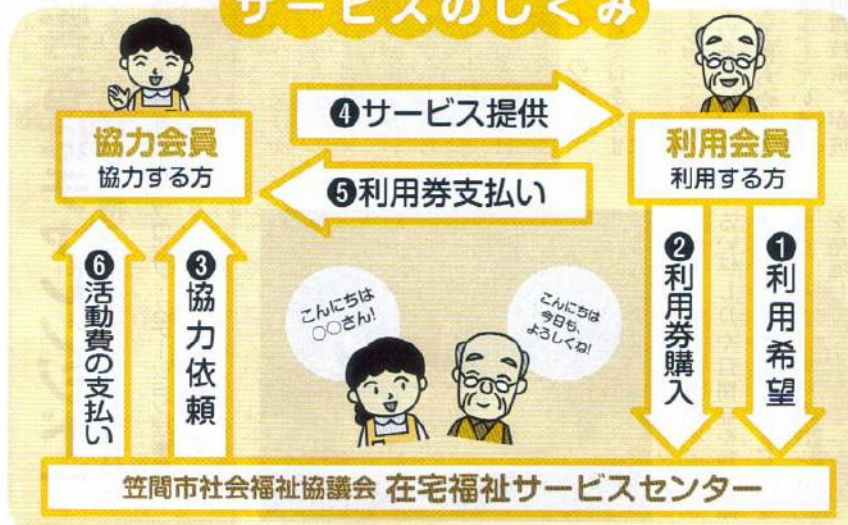
No.4

「社協ってなあと？」のシリーズも、今回で4回目を迎えることになりました。社協だよりNo.7、No.9で、社協が取り組んでいる様々な事業や活動を掲載してきましたが、ご理解いただけましたでしょうか。

さて本号では、「困った時はお互いさま」の精神で活動が続けている三支所共通事業の在宅福祉サービスを紹介いたします。

在宅福祉サービス

サービスのしくみ



こんなこともやっているよ！

在宅福祉サービスは、「困った時はお互いさま」の精神で、地域に住む人々が安心して生活ができるように、家事や育児などのお手伝いをする住民の参加と協力による有償サービスです。

- このサービスは、利用者と協力者の会員制で行われます。
- サービスを利用する方、協力する方は、まず会員登録（無料）をしてください。
- 利用料金は、1時間につき700円です。
利用券は1冊5枚綴り3,500円です。（利用料金は利用券でお支払いください。）
- 利用時間は、原則として月曜から金曜日の午前9時から午後5時までとなります。
（土・日曜、祝日、12月28日～1月5日・8月13日～15日を除く）
※上記以外でも、利用時間は相談に応じます。

利用者の声

江田 玲子 65歳

「パル・ともべ」の皆様ありがとうございました。食事作り・清掃・病院送迎・見守り等の暖かい援助の手を頂いて、わが家は人間らしい生活のリズムを回復できるようになりました。順境でも逆境にあっても、何か問題が生じたら「パル・ともべ」の戸をたたきたい住人のひとりです。感謝します。

協力者の声

協力会員として学べたことは、いずれだれもが通る道です。相手の立場にたって活動できたことが、これからの自分には良い経験でした。（T）



家事援助調理実習



“社協”って

～こんなお手伝いができます～

家事援助サービス

- 食事のしたく
- 衣類の洗濯や簡単な補修
- 住居の掃除
- 生活必需品等の買い物
- 通院及び外出時の付き添い、薬もらい
- 話し相手
- その他、相談に応じます



子育てサービス

- 乳幼児、児童の保育
- 産前、産後のお手伝い
- その他、相談に応じます



移送サービス

- 通院や外出時の送迎
- 要支援、要介護認定者および身体障害者手帳等をお持ちの方別途、ガソリン代（片道）として市内200円、市外400円（現金徴収）がかかります



お問い合わせ・お申し込みは

在宅福祉サービス「パル・ともべ」

友部支所 〒309-1704 笠間市美原3-2-11

TEL. 0296-78-3939 FAX. 0296-78-3933

在宅福祉サービス笠間

笠間支所 〒309-1613 笠間市石井1412

TEL. 0296-73-0084 FAX. 0296-72-3722

在宅福祉サービス岩間

岩間支所 〒309-0202 笠間市下郷5139-1

TEL. 0299-45-7889 FAX. 0299-45-6250



・栄養・休養・睡眠を十分にとり体力をつけておくこと。
・ワクチン接種を進んで行い、重症化しないようにすること。
（鶴田）

ちよつと
いい話

新型
インフルエンザ
に気をつけよう

市内でも感染者がどんどん増えていきます。次のようなことに気をつけ、かからないよう注意しましょう。

- ・咳や発熱などの症状のある人には近寄らないこと。
- ・流行している時は、人混みを避けること。
- ・外出から帰ったら、手指をしっかりと洗い、うがいをすること。
- ・外出の際は「不織布製マスク」を着用し、使用後は捨てること。

だより

それぞれの地区が、その地区の地域性やニーズに対応しながら、様々な地域福祉活動が展開されており、本号では「合同茶話会」「子育て支援」「ミニデイ」「バザー」等の様子を紹介します。

地域福祉活動は、人のためにやるのではなく、自分自身のための活動と考え、活動の輪が広がることを望んでいます。



参加者は年間概ね120人

帰路に立ち寄る「道の駅」等では、お孫さんへのお土産を選びながらも、ご家族一人ひとりをお願い浮かべてお土産を買い、ほほ笑ましさを感じます。

(皆塚)

「ア喜連川」をはじめに、参加者の希望等を取り入れた名所巡りや工場見学等も実施してきました。最近では参加者のニーズに合わせて、近距離の国民宿舎を利用し、介護予防を含めたゲームやビンゴゲームを楽しんで貰い、食事会では疎遠になっていた幼馴染みが「来年も来ようよ」と話し合う姿が見られます。

地区ごとに実施している茶話会の席上で、他の地区に住む幼な馴染みの安否を気遣う声を耳にして発足した合同茶話会（地区内32行政区を、毎年3班に分けて実施）も、24回と回を重ねました。

発足当初は、温泉に浸りながらゆっくり話し合っていたことを考えて「ハートビ

友部支所

八年目を
迎えた
合同茶話会
【北川根支部】



旬の味に話題もはずむ

平成17年5月からは、名称を「友二小ふれあいクラブ」に改め、場所を社会福祉会館に移し毎月第4土曜日の午前中、親・祖父母・支部役員等と一緒に、読み聞かせ・マジック・おもしろ科学遊びなど様々な遊びを取り入れ、これまで6年間活動を続けてきました。

今回訪問した10月24日は子どもの出席が5人と少人数でしたが、「かぐや姫」の朗読を元気一杯大きな声で行っていました。また、紙芝居づく



カルタとり

「今年、会員が8人と少く、できればもう少し」と責任者の平倉さんが話しておりました。

友二小の皆さん、一度訪問してみたいかがでしょうか。

(小野)

このように、下級生から上級生まで一緒に遊んで遊んだり、学んだりする機会は、学校では少ないものと思います。このような輪が広がれば、いじめや暴力は、少なくなるのではないかと思います。

「今年、会員が8人と少く、できればもう少し」と責任者の平倉さんが話しておりました。

友二小の皆さん、一度訪問してみたいかがでしょうか。

(小野)

地域が育む子育て支援

「友二小ふれあいクラブ」

【大旭支部】

「友二小ふれあいクラブ」は、はじめは「三世代キヤパン隊」として平成16年11月に「友部第二小学校児童クラブ室」を会場としてスタートしました。

りでも、みんなで協力しあって台紙に模様紙を張って、できあがると声を出して喜んでおりました。遊びの時間には、カルタとりや皿まわし、ジャグリングなどをして上級生から下級生まで一緒になって楽しんでおりました。



日帰り旅行に参加した皆さん

支所

笠間支所

ミニデイ
サービス
日帰り旅行



この事業は一人暮らしの方や、元気いっぱいの方まだまだ介護サービスを使わず充実した生活を！という方々が集まり、いつまでも健康で生活出来るように支援しています。

ミニデイサービス（生き生きふれあい通所事業）では、地区公民館で趣味活動として作品の創作を行ったり、レクリエーションなどを楽しみ、介護予防や生き生きとした生活を応援しています。

それらの事業は何度か紹介しましたが、今回はいつもと違う「ミニデイサービス日帰り旅行」を紹介します。

これは普段の公民館での活動だけでなく、いつもと違った雰囲気味わうことで、生きがいを感じてもらおうための行事です。この旅行は、驚いたことに実はミニデイを利用して頂いている方々からの意見で始まりました。



買い物を楽しむ

今回は、大洗の「ゆつくら健康館」にバスで行きました。いつものミニデイで共に楽しんでる仲間と違った場所にしかけることで、いつもの雰囲気ガラリと変わり、皆さん楽しく日帰り旅行を満喫して頂いたようです。

また、今後の活動としてリハビリ体操や、お年玉・福袋支給が、年始にかけてあります。近年流行の詐欺などに遭わないための消費生活講話も行われる予定です。

参加ご希望の方は、民生委員や社会福祉協議会までお問い合わせください。

（入江）

岩間支所

秋晴れの中
「福祉バザー」
開催される

11月1日、岩間保健センターの前庭で、朝早くからポランテア



にぎやかなバザー会場

の明るい声が響きわたります。50人余りの仲間が、それぞれの持場で準備に追われています。



(1)福祉のお手伝いが出来る喜びを感じた。
(2)日頃各サークルで活動している人達と顔を合わせて、改めてポランテアの重要性を認識させられた。
(3)当日テント

楽しいにぎやかな一日の始まりです。
品物を寄付して下さった皆さま、そして値付けや当日参加して下さった方々、多くの人の心がひとつになった日でした。

何よりお買上げいただきましたお客さま方、ありがとうございました。

（久保田）

はじめてバザーに参加して

石郷岡 誠

ポランテア活動は、妻の方が大分先輩である。私はシルバリーハビリ体操の指導士会から、今年のはじめてバザーのお手伝いをさせてもらった。その感想を簡単に書きま

す。
(4)一日バザーの手伝いをし、帰宅して改めてポランテアの何たるかをつくづく考えさせられた。

笠間市社会福祉協議会人事

(平成21年10月1日現在)

所 属	職・氏名	所 属	職・氏名	所 属	職・氏名
本 所	事務局長 (嘱託) 石井善昭	介護総括	羽方淳子	総 務	松田勉
	総 務 小沼俊之	総 務	萩原里美		
友 部 支 所	次長兼支所長 (総務グループリーダー) 小菅栄子	地 域 2 グループ	サブリーダー 富施信行	地 域 1 グループ	片岡博司
	総 務 山田由美子	地 域 2 グループ	藤川勝敏	地 域 2 グループ	境のり子
	地 域 2 グループ 会澤由希子	地 域 1 グループ	吉成和美	パ ル ・ と も ペ	コーディネーター 松田京子 (嘱託)
	介護事業 責任者 木村節子	居宅介護	リーダー 岡野利江	居宅介護	清宮知加
	居宅介護 星屋清美 (嘱託)	訪問介護	サブリーダー 松田輝子	訪問介護	島田順子
	訪問介護 鈴木美佐代	訪問介護	川井三津子 (常勤)	訪問介護	立川信子 (常勤)
	訪問介護 小園江三奈子 (常勤)	通所介護	サブリーダー 萩野知美	通所介護	柴崎修一
	通所介護 入野さく (常勤)	通所介護	綿引健 (常勤)	通所介護	松下孝子 (常勤)
	通所介護 山崎京子 (常勤)	訪問入浴	サブリーダー 岩間 洋	訪問入浴	光又宏子
	いこいの家 はなさか リーダー 松田久光 (嘱託)	いこいの家 はなさか	サブリーダー 水庭ちさい	いこいの家 はなさか	富田輝雄
笠 間 支 所	支所長 (地域2グループリーダー) 倉持淳子	地 域 1 グループ	サブリーダー 矢口勝博	地 域 1 グループ	遠西裕子
	総 務 米川初美	地 域 2 グループ	富田英夫	作業所ニコ ニコハウス	坂梨博昭 (嘱託)
	居宅介護 サブリーダー 外山裕子	居宅介護	高瀬修一	居宅介護	坂野次郎
	居宅介護 黒沢美代子 (嘱託)	居宅介護	田中ゆき子 (常勤)	訪問介護	サブリーダー 太田菊江
	訪問介護 仲田八重子	訪問介護	成田千恵子 (常勤)	訪問介護	本多保枝 (常勤)
	通所介護 リーダー 奈良部恵美子	通所介護	松本淳	通所介護	塩幡愛子
	通所介護 加藤明美 (常勤)	通所介護	吹野正夫 (常勤)	通所介護	高野礼子 (常勤)
	通所介護 鈴木和江 (常勤)				
岩 間 支 所	支所長 (地域1グループリーダー) 小池和夫	地 域 2 グループ	サブリーダー 海老澤清美	地 域 1 グループ	柴沼真一
	総 務 片岡光子	地 域 2 グループ	小林緑	居宅介護	サブリーダー 佐竹百合子
	居宅介護 益子奈津子	訪問介護	リーダー 立原和子	訪問介護	小沼敬子
市民生活課	包括支援 センター 今成良江 (本庁)	包括支援 センター	立川正美 (笠間)	包括支援 センター	菅谷幸江 (岩間)

※紙面の都合上、正職・嘱託・常勤職員のみ記載しております。 ※■が異動者。

訂正とおわび
社協だよりNo.9の善意銀行預託者紹介の中で、誤りがありましたので、お詫言いますとともに、訂正させていただきます。
柴田 五郎様
ペットボトルキャップ (誤)
ヤーコンコンテナ1箱 (正)
本号での善意銀行預託者紹介は紙面の都合上、次号に掲載します。ご了承願います。

全国社会福祉協議会会長表彰

民間社会福祉団体功労者 (敬称略)

石本 芳子 笠間市手をつなぐ育成会理事
永年勤続功労者 (敬称略)
根本 寿子 笠間市くるす保育所所長
山田 方子 笠間市いなだ保育所所長
青木 早苗 笠間市ともべ保育所主任保育士
鈴木 雅子 笠間市てらざき保育所所長

中央共同募金会会長表彰

従事功労者 (敬称略)

小菅栄子 茨城県共同募金会笠間市支会

11月20日に日比谷公会堂で全国社会福祉大会が開催され、多年にわたり社会福祉の発展に功勞のあった方々の表彰があり、笠間市からは左の6人が表彰されましたので、ご紹介いたします。

全国社会福祉大会で表彰

新型インフルエンザが流行し市内の小中学校でも学級閉鎖が相ついでおり、各自からしないよう気をつけたいものです。
さて、本号では、過日開催された県社会福祉大会で顕彰された方々を紹介、記念講演の内容、そして、各支所の活動の様子、人事異動などを掲載いたしました。
社協も合併して三年が経過しました。地域の連携を一層深めながら地域福祉活動の充実が望まれます。
(小野)

編集後記

心配ごと相談は、市民の皆さんの日常生活から出てくるいろいろな心配ごとについて相談をするところです。

どんなささいなことでも、ひとりで悩んでいないで、相談員と一緒に、より良い方法を考えてみませんか。

支 所	心配ごと相談	電 話
笠間支所	毎週火曜日 午後1時～4時	0296-73-0084
友部支所	毎週水曜日 午後1時～4時	0296-77-0730
岩間支所	毎週木曜日 午後1時～4時	0299-45-7889

※相談無料・秘密厳守 (祝日の場合は休みとなります)